

(別紙2)

「まちなか保育施設の新規設置及び運営事業者の公募にかかる意見募集について」事業趣旨

豊橋市では、令和5年度にまちなかエリアにおける保育施設のあり方にかかる調査を行いました。調査結果に基づく、まちなかエリアの現状や保育の課題に対応するため、「まちなか保育施設」を民設民営により、新たに設置します。

(1) まちなかエリアの現状

- ・豊橋駅から市外への電車通勤者は、約9,300人存在し、豊橋駅を利用し、かつ保育ニーズを持つ保護者が一定数あると推測されます。
- ・豊橋駅付近のまちなかエリアでは、再開発によるマンションの増加や「まちなか図書館」をはじめとした「にぎわい・交流空間」が創出されています。
- ・まちなかの未就学児の人口は、令和5年4月1日時点で、730人となっており、今後は減少していく見通しですが、現在まちなかエリアでは、新たなマンション建設が次々と進んでいます。

(2) まちなかエリアの保育の課題

- ・まちなかエリアの保育施設は、0～2歳における入園希望数に対し、十分な受入人数を確保できていません。
- ・保育所等に通園していない子どもを対象とした一時的な保育においても、ニーズに対して、十分な受入人数を確保できていません。

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
入園希望が叶わなかった子どもの人数	2人	26人	8人	2人	3人	2人	43人
うち保護者の通勤先が市外の人	2人	13人	1人	0人	2人	0人	18人

まちなかエリアに所在する既存の保育所等への入園希望者の状況

出典：豊橋市（令和7年4月1日入園）

(3) まちなか保育施設ニーズ調査結果

- ・令和5年度に豊橋市が実施した、まちなかに居住もしくは勤務する保護者等を対象としたアンケート調査結果では、全体の6割がまちなかエリアに新たな保育施設ができた場合に利用する可能性があるとの回答がありました。さらに、まちなか居住かつ電車通勤者に限ると、8割の方が利用する可能性があるとの回答しています。